

熟練の技が光る印刷パッケージ 顧客ニーズに合わせて一括提案

昭和15年創業の上山紙業は、80年以上の歴史を誇るパッケージ製造のスペシャリストだ。令和6年5月に3代目の上山正司社長が就任し、新たな時代へと歩みを進めている。

国の補助金を活用し、最新鋭の印刷機器を導入。主力事業の印刷パッケージを中心にOPP・CPP袋やシール製造など多岐にわたる製品を手がける。取引先の約50%を占めるのは、アパレル関連メーカー。東京から九州までの幅広い販路が、確かな技術力への信頼の証となっている。

住 所 | 〒570-0061 大阪府守口市小春町2-9
TEL | 06-6992-6861 FAX | 06-6992-6863
創 業 | 昭和15年4月 設 立 | 昭和35年12月
資本金 | 1,000万円 従業員 | 5名
H P | <http://www.ueyamasigyo.sakura.ne.jp/>

■主な事業内容

印刷パッケージ、OPP・CPP袋、E段美粧ケースの製作、ノベルティグッズの販売

■主な取引先（納品先）

アパレルメーカー、雑貨メーカー、菓子メーカーなど



上山紙業株式会社

WEBサイト



代表取締役社長

上山 正司さん

商品の向こうには「人」あり。 お客様とともに100年企業を目指す

私たちは、お客様の目線に立ってともに考え、それに合わせた提案を大切にしています。営業担当としての経験を通じ、「上山さんだから頼む」と仰っていただけるお客様の存在に、この仕事の深いやりがいを見出してきました。単に商品やサービスを提供するだけでなく、コスト削減や売上向上に繋がるご提案を重ねることで、信頼できるパートナーとしてお客様のビジネス成功に貢献してまいります。

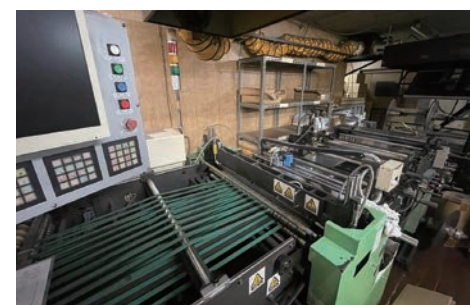
昨今の情勢により、経営状況は決して甘くありません。そんな中でも守口の地で創業100年企業を目指しお客様とともに歩み続けることが願いです。



紙以外への印刷が可能なUVプリンター



厚紙を様々な形状にカットできるトムソン



透明袋を自動で大量生産できる製袋機

極み 補助金活用の 設備投資を進め 多品種小ロットの特注に対応

40年以上稼働する機械の確かな品質に加え、近年は国の補助金を戦略的に活用。デジタル印刷機やUVインクジェットプリンターを導入し、新たな可能性を広げている。100枚単位の小ロットから複数素材の一括受注まで柔軟な対応力で顧客ニーズに応える。

取り組み 地元町会役員の 活動にも尽力 地域とともに歩み続ける

現会長の上山正幸氏は、会社所在地の小春町で10年以上にわたり町会役員を務め、地域と強い絆を築き上げてきた。年末には地域の夜警をするなど安全活動にも尽力。現在は町会長の立場で地域企業の一員として、コミュニティの活性化に寄与し続けている。

今後の展開 設備、技術、資源を生かし 新規事業開拓の推進を 目指す

SNS戦略の強化と新商品開発に注力しながら、展示会やセミナーを通じた情報収集を推進。既存設備を生かしたノベルティグッズ製作販売など従業員の増員による生産性向上を図りつつ、AI技術の活用といった新技術導入も視野に入れ事業展開を構想している。

ポイント 福利厚生・働く魅力 職場環境

働く環境を整えて
残業をほぼゼロへ
高い定着率を実現

土・日・祝休みの完全週休二日制や、8時から17時までの勤務時間制など、働きやすい職場環境整備を第一に掲げる同社。残業をほぼゼロに抑える企業文化が先代社長の頃から根付いている点も、特筆すべき点だろう。また、昼休憩とは別に20分休憩を設け、メリハリのある業務遂行を可能にしている。

休暇取得においても柔軟な対応を基本とし、従業員の家族事情にも配慮。社会保険完備、労災保険加入、交通費支給、定期健康診断の実施など、基本的な福利厚生も万全な体制を整える。その結果、40年以上の長期勤続者を擁し、雇用の安定を実現。従業員一人ひとりが、いきいきと活躍できる環境を築き上げている。